

## 「第8回IABPに関するセミナー」開催のお知らせ

拝啓

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

IABP研究会ならびにIABP協議会との共催で、医療従事者を対象にIABPに関する見識と技術の一般向上を図るために、「第8回 IABPに関するセミナー」を下記の要領で開催致します。

すでに、第1回目の東京より、名古屋、大阪、福岡、仙台、広島、金沢の各地で7回のセミナーを行って参りましたが、毎年大変な好評を得ております。

つきましては、大変ご多忙中とは存じますが、貴院でのIABP関係部署にご回覧頂き、積極的にご参加への検討をお願い申し上げます。

敬具

平成19年5月吉日

第8回IABPに関するセミナー

代表世話人 岡田 昌義

IABP研究会、IABP協議会共催

- 記 -

会 期: 平成19年7月7日(土) 10:00~16:10 (9:30 受付開始)

会 場: 北海道自治労会館 4Fホール 札幌市北区北6条西7丁目5-3 Tel:(011)747-1457

参加費: 8,000円(教科書・受講証・お弁当などを含みます)

申込方法: 添付申込み用紙でFAXにてお申込み下さい。

申 込 先: 「IABPに関するセミナー」事務局 FAX:0568-81-7785

~~お問い合わせも上記のFAXにてお願いします。~~

締 切 り: 6月1日(金) FAX到着分まで受け付け致します。

なお、会場の都合上、先着200名前後で締め切らせて頂きます。

【お問い合わせ先】

0568-81-7954

東海メディカルプロダクツ

担当 三輪

### <プログラム>

- |             |  |  |
|-------------|--|--|
| 10:00~10:05 | 開会の辞                                   | 岡田 昌義 (IABP研究会代表世話人)   |
| 10:05~10:40 | 1) IABPに関する総論                          | 岡田 昌義 (IABP研究会代表世話人)   |
| 10:40~11:20 | 2) 内科医からみたIABPの応用                      | 田中 啓治 (日本医科大学 集中治療部教授)   |
| 11:20~12:00 | 3) 看護師からみたIABPの運用                      | 高井 郁子 (札幌医科大学附属病院高度救命救急センター<br>副看護師長)                                      |
| 12:00~13:00 | 昼食、休憩                                  |  |
| 13:00~13:40 | 4) Hands on Work (IABP装置 / バルーンの展示と操作) | アウツパ(株)、ドワズライサイエンス(株)、セオメテック(株)、(株)東海メディカルプロダクツ<br>泉工医科工業(株)、フタ電子(株) (順不同) |
| 13:40~14:20 | 5) 救急医からみたIABPの活用と、合併症対策               | 浅井 康文 (札幌医科大学 救急集中治療部教授)   |
| 14:20~15:00 | 6) 臨床工学系からみたIABPの運用法                   | 加納 隆 (埼玉医科大学 医用生体学科教授)   |
| 15:00~16:00 | 総合討論                                   |  |
| 16:00~16:10 | 閉会の辞                                   | 岡田 昌義 (IABP研究会代表世話人)<br>受講証交付  |

## 北海道自治労会館への交通アクセス



北海道自治労会館までの交通機関

JR 札幌駅西口より徒歩 5 分

地下鉄南北線さっぽろ駅より徒歩 6 分

\* 会場は駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

## 第 8 回「IABP に関するセミナー」参加申込書

申し込み受付専用 FAX:0568-81-7785

三輪宛て

施設名	
FAX	
<b>参加希望者</b>	
<b>所 属</b>	<b>氏 名</b> (フリガナ)

申し込み締め切りは、6月1日(金)FAX 到着分までとなっておりますが会場の都合上、先着 200 名前後で締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。記入欄が不足の場合にはコピーをして下さい。尚、参加の可否は、お申し込み FAX を受付後、3 日以内に最初にご記入頂いた参加希望者宛に FAX でご連絡いたします。恐れ入りますが、氏名は受講証の発行時に使用いたしますので、楷書でフリガナも記入していただきますようお願いいたします。